

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝の朝礼で理念を唱和し、利用者主体の生活ができるよう理念に基づき、地域・家族と共に支えていくことを再認識する意義を踏まえ実践につなげている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	今年はコロナ禍でイベント中止状況だが、昨年までは地域主催のイベントに参加し交流を図っている状況。月に一度の地域清掃を利用者も参加して行ったり、男性職員限定だが、地域の方々と一緒に夜の防犯パトロールにも参加させていただいている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	運営推進会議に地域の方や家族・利用者にも参加していただいたり、地域行事に参加させていただくことで、認知症の人への理解や支援の方法の理解を深められるよう働きかけている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年はコロナ禍にて、3密回避や感染症予防の為に会議を見送り、運営や取り組み状況の資料を地域の方や市包括支援センターにお渡しし情報共有を図っている。例年は概ね2ヶ月に1度開催し出席者から意見をいただきサービス向上に活かした運営に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	担当地域の市包括支援センターとは、運営推進会議にて情報交換をしており、介護保険課や福祉事務所には電話や役所に出向いて、必要に応じてサービス上の相談や協力が得られるように努めている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止マニュアルを作成し、職員ミーティングにて定期的に、身体拘束に関する研鑽を行っている。外出希望の強い利用者の行動を見守り、各階職員間で情報共有をして、事業所として日常的に身体拘束を行わないケアに取り組めるよう努めている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体的な虐待がないか、利用者様の更衣、トイレ、入浴の時に身体を注意深く確認することや、職員ミーティングで定期的に虐待に関する研修実施や外部研修に参加して、虐待についての理解や認識を深めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者や職員は、成年後見制度や権利擁護について、職員ミーティング日に研修して学びを深めている。成年後見制度を利用されている利用者があり、職員ミーティング時で、折に触れ話し合うようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約を行う際は、懇切丁寧に説明し、気になる疑問を都度確認しながら行っている。内容について具体的な例を交えながら、できるだけわかりやすく理解いただけるように心がけている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議を活用して、家族様や利用者様の意見を反映できるようにしている。意見箱設置やノートを準備しているが、日頃から何でも気兼ねなく話していただける雰囲気作りを心がけており、直接管理者や職員に意見等いただけることが多く、その要望等に応えられる様努めている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の管理者会議や職員ミーティングにおいて、代表者や管理者は、職員からの意見を聴く機会を設け、会議等で出た意見を運営上に反映できるよう努めている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は管理者から連絡相談を受け、職員の勤務状況や実績等を把握している。相談内容を受けて、配置転換や各個人に見合った部署への異動等も適宜行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内外の研修案内が管理者経由で情報発信され、職員と管理者はそれぞれのレベル等に合わせて、必要とする研修参加をしている。また新人職員に対する研修は、日々の業務の中で中堅層職員により、フォローやアドバイスをを行うことで実践的なトレーニングを受けている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者会議により、管理者同士の交流や情報交換が行えている。例年は地域・町内会主催の夏祭りや秋の運動会、町内所属の他高齢者福祉施設同士の合同開催による交流会にて、相互のサービスの質向上や職員同士のスキルアップの刺激となっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人自ら、不安・悩み・苦しみ・喜び・困り事を訴えることができる場合は、ゆっくり話を傾聴し本人の安心できるような言葉かけに努めている。また自ら訴えられない方に対しては、様子を伺い見極めて、安心していただける関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	かねてからコミュニケーションを図れるように心がけ、家族の要望や不安について、随時相談していただけるような機械を設け、職員間で情報共有に努め、統一した対応ができるように心がけている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今現在気になっている事、心配や必要な事、身体状況等の情報を伺い、家族の負担が軽減できるよう、本人にとって一番適切と思われるサービス等をご提案している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活の中で、日頃からコミュニケーションを図りながら顔馴染みの関係を築けるよう努め、利用者と同じ目線に立ち、一緒に過ごすことで、お互いを必要とし大切にしている立場であることを認識してもらえるよう努めている。また感謝の気持ちを伝えられるよう心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日々の生活の中での喜びや不安を一緒に分かち合い、職員も同じ立場に立ち、本人が楽しく穏やかに過ごせるように、どちらか一方だけに任せるのではなく、家族と協力して支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者様にとっての馴染みある方との面会や電話連絡など、いつでも受け入れており、関係性の継続支援ができるよう努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お一人おひとりの個性を把握し、相性の関係等を考慮してトラブルにならないように支援している。また利用者様同士がお互いを認めて、それぞれができない事を支え合えるような関係づくりの支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去されても、いつでも相談や支援をできるようにしている。今でも退去された方のご家族と交流があり、何かしら連絡して下さったりして声をかけていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりにおいて、表情や行動からの気づきを大切にし、コミュニケーションを図り関係性を大事にしながら、利用者がどのような生活をしたいのか把握できるよう努めている。意思疎通が困難な方には、家族様からも情報を得られるようにしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に本人様や家族様にこれまでの生活歴が把握できるよう聞き取り等において、なるべく詳細情報を得られるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別に一日の過ごし方や心身状態の変化や気づきを記録し、できたことや嬉しかったこと等を、職員間で情報共有できるように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の生活で利用者の思いや必要としている事を汲み取る努力をしている。本人様や家族様の意向を確認し、担当職員を中心にアセスメントして、利用者様にとってその時点で一番良いケアができるようプランの作成に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子やケアの実践・結果・気づきや工夫等を記録している。入居時や状態変化がある時など、必要に応じて24時間シートを使用して職員間で情報共有している。他、利用者様の食事や水分・排泄の記録を行い個別にファイリングしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>臨時の病院受診の際の送迎支援うい行っている。また臨機応変に利用者様の個別外出にも職員が付き添い支援している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>民生委員と意見交換する機会を設けている。例年は校区運動会や町内会主催の夏祭り、交流会等に参加して地域の方々とも接し協働支援している。またボランティアも積極的に受け入れ、本人の力を引き出す手助けの一部を担っていただいている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居時に必ずかかりつけ医の有無を確認し、本人様や家族様の意向を確認している。通院や往診等希望される医療機関を受けられるよう支援している。その際は心身状態の報告書を作成して情報提供や円滑な連携を図れるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日々の生活の中での些細な気づきや普段と違う変化を大切にし、職場内の准看護師や訪問看護師から助言や意見をもらえるようにしている。受診が必要であれば適宜支援できるように努めている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>今年はコロナ禍の影響で、入院された利用者様との面会は困難であるが、例年は入院先に面会に行き本人様の状態を把握し医療関係者と情報交換やカンファレンス参加をしている。できるだけ早い退院とホーム帰居となれるよう努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末期に向けての看取りケアの経験はこれまでにないが、終末期を見据えた利用者様については、家族様と面談を行い、折に触れ今後についての方向性を話し合えるようにしている。職員の心情も聞き取りを行い、その時が訪れた際にどのようなケアができるかの話し合いも適宜行っている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>救命救急マニュアルファイルを作成し、研修を重ねる中で実践力が身につくようにしている。例年は定期的な避難訓練時に消防署職員より、心肺蘇生法や応急手当、初期対応の方法について指導を受けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年間で定期的に行う避難訓練の実施や職員間の連絡網の周知、職員ミーティングでの研修にて非常災害時等における確認をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様に対しては、年長者であるという尊敬の念を表し、傷つけてしまうことのないように、親しみを込めた中にも言葉遣いには細かい注意を払っている。また個人情報等は本人様方の目に入らない場所へ保管している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活で利用者様の態度や表情の変化に気を付け、何をされたいのか、何をしてもらいたいかを汲み取り、また言葉かけにて聞けるようにし、最終的に本人様に自己決定してもらえるよう働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人の性格や生活リズムを把握し、職員側の都合を優先させないように、その人のペースで過ごしていただけるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	起床時に整容し、自己決定できる方には本人に服を選んで着替えていただいている。必要に応じて訪問美容師に来ていただき、ヘアカットを定期的に行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理の下準備(野菜)を一緒に行ったり、献立を通して会話を楽しんでいる。職員も同じテーブルを囲み同じ食事をしながら、食事中も箸の進まない方や食べ方が分からない方に声かけし、楽しい雰囲気の中で食事していただいている。下膳や皿洗い、トレイ拭き等も手伝っていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士資格をもつ職員が作成する食事献立により、バランスのとれた料理を提供している。食事と水分摂取量を記録し全職員が把握している。持ちやすい食器選定や、個々に合った食事形態も工夫して支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きの声かけを行い、見守りや必要に応じて介助を行っている。義歯を使用している方は就寝前に洗浄消毒をしている。また定期的に協力歯科への受診支援をし、口腔状態について職員が情報共有をしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	お一人おひとりの排泄パターンをチェックし、定時でのトイレ誘導を行い、なるべく排泄失敗のないようにしている。失敗時は下清拭等行うが、その際は自尊心を傷つけないように細心の注意を払い支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日10時にヨーグルトを提供している。日中の水分補給の充実や、散歩や廊下での歩行練習、レク活動での運動や家事を行い便秘予防に努めている。どうしても便秘がちな方に対しては、主治医処方での緩下剤を使用している利用者様もおられる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	日常の入浴支援で。その人の体調や希望を踏まえながら、なるべくその人に合ったタイミングで気持ちよく入浴していただけるよう支援している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼食後は短時間での昼寝を促したり、個々に合った休息の仕方とっていただき、夕食後ホールでくつろがれている時に、飲み物を勧めリラックスしていただいている。声かけにて就寝を促し、精神的にも安心していただけるよう寄り添い支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院受診ファイルで管理して、薬の目的や副作用等について正しく理解している。服薬時はその方にあった内服方法での内服薬に努めている。変更時や変化のある時は主治医に報告相談し、すぐに対応できるように努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お一人おひとりの能力を見極め、それぞれが得意とする力を発揮していただき、その人に合った役割を模索して自信や張り合いをもって暮らせるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	今年はコロナ禍の影響で家族様の面会や外出の制限をしているが、例年は家族様の協力のもと、できる限り希望に添えるような外出支援に努めている。毎日散歩に行きたいと希望される方もおり、なるべく希望に添えられるように個別での支援にも努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族様より、お小遣い程度のお金を預かりして管理している。日用品をはじめ何か欲しい物がある際は、いつでもお金を使えるように支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>利用者様の希望に応じて、電話をかけたり手紙等が出せるように支援している。また遠方の身内様から贈り物が届いたら、電話で御礼を伝えられるよう随時支援を行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>光はカーテンや照明で配慮し、室温は空調等で調整している。利用者様にとって不快となる音がないように努めている。季節ごとに季節感のある貼り絵や切り絵等を可能な方には一緒に作っていただき装飾している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールにはソファを設置しており、利用者様同士が仲良く座り談笑したり歌ったりして寛がれている。ソファをご自分の居場所として捉えている方もおり、思い思いに過ごせられるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご自宅より馴染みの使い慣れた家具や生活用品等を持ち込んでいただき、安心して過ごせる住環境づくりをしている。壁面には写真等を飾っていただいている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>建物内はバリアフリーになっており、至る所に手すりを設置している。各居室入口には表札を設置し、トイレは入口に「お便所」。浴室前には「湯」の暖簾を下げて、目で見えてわかるように工夫している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない